



更女しまね

第8号 2022. 5. 1

島根県更生保護女性連盟 松江保護観察所内 TEL (0852) 21-3767

更女しまね第1号から第7号までの表紙写真



国宝 出雲大社 本殿 (第1号)



国宝 松江城天守を望む (第2号)



島根県立しまね海洋館アクアス
「シロイルカ 幸福のパブルリング®」 (第3号)



隠岐国分寺蓮華会舞 (第4号)



隠岐国賀海岸 (第4号)



ありがとう三江線 (第5号)

三江線は、島根県江津市と広島県三次市を結ぶ JR 西日本の鉄道でした。惜まれながら今年4月1日廃線になりました。江の川に沿って急峻な山間を走る車窓からの景色は、四季の移ろいを心に染み入る美しさで語りかけてくれました。



ホーランエンヤ (第6号)

ホーランエンヤは松江市で行われる城山稻荷神社の式年神幸祭の通称です。大阪府の天神祭り、広島県の厳島神社の管弦祭と共に日本三大船神事での二つとされ、10年に一度行われます。総数100隻以上に及ぶ豪華絢爛たる伝馬船大船行列は壮大であり、権伝馬船での華麗な「権伝馬船踊り」は松江市指定無形民俗文化財に指定されています。



石見神楽について (第7号)

令和元年5月20日(月)石見神楽の里：江津市浜田市をはじめ石見9市町を舞台とするストーリー「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で傳承される神楽～」が文化庁により日本遺産に認定されました。



“こころ一つに…”～地域の活動～

安来地区

山崎 光恵

私たちはコロナ禍の中、例年の活動が出来ず、昨年は会員手作りの布マスクを施設に寄贈しました。今年度は感染症対策を徹底の中、総会と研修会を行うことが出来ました。



広瀬地区

岡崎 憲枝

「新型コロナウイルス」が世界を駆け巡り、三度目のお正月でした。

生活・環境は一変し、例年開催していた催しは全て中止が続いています。

更女の会と同様。誰もが集まる総会も紙面総会で済ませました。会員同士の顔を合わせる機会がなかったことで、今まで繋がっていたきずなが立ち消えないようにと言う思いも加わって「愛の募金」だけは感染に万全をきして果してきました。支部によっては、地元の子どもに読み聞かせを行ったところもありました。細々ですが絶やさず繋がりを保っています。

従来の形態で開催できるようになる事を願っています。

伯太地区

為国 角

私達更女の活動は主に「愛の募金」。地区内の小・中学校、こども園に図書費の補助として贈っています。下校時の見守りと、保育所の窓掃除です。早く前のような活動の出来る日を願っています。



松江地区

青木 薫代

コラージュ研修会

松江更女は「しらふじ」の入所者と毎月コラージュを通し交流をしてきました。コロナの為出来なくなり、改めて専門の先生を招き支部長と観察所、しらふじ合同のコラージュ研修会を開きました。(令和3年11月より交流再開)



東出雲地区

板倉 靖子

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、活動を休止せざるを得なかった2020年。2021年は感染対策をしながら、少しずつ再開した活動。保護司さんと一緒に揖屋駅周辺のパトロールを行いました。



美保関地区

小川久美子

我が町は半島に小集落が点在していて、過疎と高齢化で新しい会員も増えません。募金は頑張っています。コロナが落ち着いたら皆で集まって対策会議を開きたいと思っています。

島根地区

小川美知子

地域団体との連携協働活動として、校門やスクールバス停で「あいさつ運動」を行っている。また、更生保護施設「しらふじ」への衣料・日用品の寄贈を行い、立ち直りへの支援の輪を広げている。



鹿島地区

中島 和子

PR活動を重点目標に

町民文化祭の折に、更女の活動をパネルにして、展示。併せて、手芸コーナーを設け、無料でミニモップづくりを行った。親子づれでにぎわい、話がはずみ、一緒に楽しむことが出来た。更にPRビデオを流し、観賞していただいた。



八雲地区

堀江 久世

八雲更女は愛の募金活動の他、少年育成会員として挨拶運動や、校庭の芝生実行委員会として補植活動をしています。

文化祭では更女活動の紹介や、会員が持ち寄った絵本等の古本を販売しています。代金は募金箱に入れてもらい、「愛の図書」の一部にしています。



八束地区

渡部天津子

絵本の読み聞かせ

八束地区の更生保護女性会は八束保育園へ読み聞かせに行っています。第2週目の火曜日に4人から5人で訪園しています。読み聞かせの名前は「お話しポケット」です。訪園するとお話しポケットさんと大きな声で声かけしてもらってます。先生方から園児達がこの日を楽しみにしていますと言って下さいます。お部屋にお邪魔すると行儀良く待っていてくれます。読み聞かせの間は静かに聞いてくれます。読み聞かせが終わると歌を聞かせてくれ、お部屋を出る時にはにぎやかに送ってくれます。園児達が笑顔で待ってくれる姿をみると嬉しいです。又、次の日も顔を見に行こうと心が弾みます。



玉湯地区

板谷 裕子

会員数は12名ばかりですが、「愛の図書」寄贈運動は、設立当初より会員一同で頑張っています。

公民館と一体となり、社明運動を始め青少協、社協、人推協などの活動をしています。



宍道地区

野津千洋子

コロナ禍で活動が制限される中、私たちはタオル、バスタオルを地元の幼保園に寄贈する活動をしました。会員の皆様のご協力によりたくさんの品が集まり、幼保園にも喜んで頂きました。



大仁地区

藤原美紀子

コロナ禍で募金も全体研修会も断念した。この機に原点に戻って活動を見直し、地域で少人数でもできる事を考えた。苗を持ち寄り地元駅ホームを花々で彩るなどの活動を行い、会員増にも繋がった。



飯石地区

前田 榮子

我が更女は、令和元年に60周年を迎えました。総会の資料に合わせ10年の歴史を綴りました。時代も移り維持することの難しさを感じています。

平田地区

大谷 民子

平田地区更女は、保護司会や、民生児童委員協議会、地区社会福祉協議会等との連携した活動が増えました。

その結果、子育て支援活動、研修会等共催事業として取り組んでいます。



出雲地区

嘉藤 馥美

市内72校、園への図書券贈呈の他には主に16の地区ごとの独自活動を展開している。①校
園訪問（登下校見守り、読み聞かせ等）②子供
会開催（雛祭・月見等伝統行事、体験学習）③
介護施設等への奉仕



斐川地区

江角 佳子

地区全体の活動を控える中、7支部ではそれぞれシトラスリボン作りと配布、また会員が集めた日用品をフードドライブとして地区社協に役立ててもらおうよう持参するなど、コロナ禍での人権・生活に少しでも役立つよう支部活動を進めました。



佐田地区

杉山 悦子

更女に精神に則り、新規の活動も継続している活動も「何の為に、誰の為に」を常に確認し、活動しています。子育て支援活動（標語掲示、紙芝居、見守り活動等）更生保護活動（支援物資寄贈等）



多伎地区

柳樂 利子

保護司と共催で「幸せに暮らすために『SDGs』ってなんのこと」と題して、地域の多くの皆さまを対象に講演会の実施。

更生保護施設「しらふじ」を訪問し、更生保護事業について学ぶ。



大社地区

川上 清子

子育て支援を軸に手作り玩具の制作、小学校でのミシン学習の補助、児童の自主トレセンの見守り等を行い、コミセンや保護者、地域団体との協働活動を継続。日帰り研修旅行を実施。会員相互の学習・親睦を図る。



邑智地区

富永富久恵

6月11日、コロナ禍の中、万全を期して、総会並びに上谷淳子保護観察官による講演を拝聴し研修を行なった。又、紙テープで籠を編み販売して活動資金を得たり、愛の募金活動を行ったりした。



江津地区

山脇 里美

おそろいの新調のエプロンを身に着け子育て支援に出向きました。コロナ感染症の収束を願い、江津市内全中学校でシトラスリボン指導をしました。各学校の生徒からお礼状も届き、会員のモチベーションアップにもなりました。



浜田地区

高木禮爲子

平成19年3月“ふくろうのぬいぐるみ”を高根あさひ社会復帰促進センターに謹呈。釈放時にセンター長殿が渡される。心の支えとして持ち歩き、自分を戒めていると聞いている。ふくろうは「知恵の神」「幸福を運ぶ神」と言われ、更生の支援になればと願っている。



令和3年末までに8,492個謹呈。

鹿足地区

中村 俊子

令和3年12月8日(水)、津和野町連婦主催の防災学習会に更女も参加しました。炊き出し訓練では、ハイバックス袋詰の避難食作りを、日原中学生、婦人会、更女、自治会の老若男女が取り組みました。協力、親睦と、さらに絆が深まった研修会となりました。



益田地区

宮川 公子

4者合同研修会開催

益田地区保護司会・益田地区協力雇用主会
鹿足地区更生保護女性会・益田市更生保護女性会
高根あさひ社会復帰促進センターを題材とした「プリズンサークル」を視聴した。



隠岐の島地区

佐々木幸子

主な活動は募金活動。募金の一部を保小中学校へ愛の図書券として寄贈し福祉施設へ募金贈呈。町主催イベントに出店し売上げは募金へ。チャリティー余芸大会に劇踊りで参加。ベルマーク収集活動等。



海士地区

上田 正子

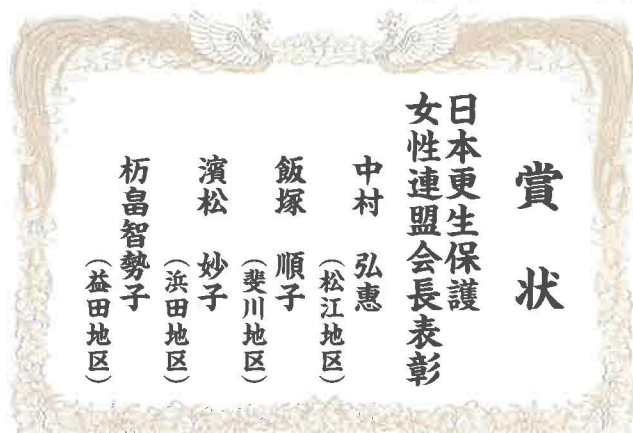
海士町更女は平成11年、16名の会員で発足以来、現在48名の会員が愛の募金を主に活動をしています。地域での認知度も高まり毎年50万円以上の募金を集め保育所、学校へ寄贈し喜ばれています。



令和3年度 表彰おめでとうございます

令和3年6月8日（火）に有楽町朝日ホールで行われる予定の第58回“日本更生保護女性の集い”は、コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。法務大臣感謝状・日本更生保護女性連盟会長表彰贈呈は行われず、11月19日（金）に松江市のくびきメッセで開催されました「令和3年度島根県更生保護事業関係者顕彰式典」にて授与・伝達が行われました。また、同式典にて中国地方更生保護委員長感謝状・中国地方更生保護女性連盟会長表彰・松江保護観察所長感謝状の授与が県代表各一名に授与されました。

令和3年度被表彰者



- 中国地方更生保護委員会委員長感謝状 23名
- 中国地方更生保護女性連盟会長表彰 28名
- 松江保護観察所長感謝状 146名

60周年記念誌編集を終えて

島根県更生保護女性連盟結成60周年を迎え、記念誌を発刊できましたことに編集委員一同感謝の気持ちでいっぱいでございます。感染症対策をして企画されました記念式典も中止せざるを得なくなり、また世界中で起こっている様々な事象には胸が張り裂けんばかりの思いの日々を送っています。

その中にありまして、10年のしっかりとしたあゆみを思い返し、また記念誌の中に入れた県連盟機関紙「更女しまね8号」では、どんな状況でも出来る事を探して地域で活動をしていらっしゃる会員の皆様の熱意を感じました。

記念誌発刊に祝辞をくださいました日本更生保護女性連盟会長、島根県知事を始め多数の皆様とご協力くださいました島根保護観察協会、松江保護観察所の皆様に厚くお礼申し上げます。

編集委員長 江角 佳子
 編集委員 山脇 里美 板倉 靖子
 野津イマ子 樋野 淑美
 杉山 悦子 高木禮為子

島根県更生保護女性連盟結成60周年記念誌

令和4年5月1日発行

発行者 島根県更生保護女性連盟
 会長 山脇 里美
 印刷 松江市北田町248
 株式会社 クリアプラス